

—平成28年度建設副産物技術講習会—

〈主催—北海道地方建設副産物対策連絡協議会〉

〈協賛—建設副産物リサイクル広報推進会議〉

建設産業は、我が国の資源利用量の多くを建設資材として消費する一方で、産業廃棄物全体の最終処分量の約20%を建設系廃棄物として最終処分しています。また、全国の不法投棄量に占める建設系廃棄物の割合は約63%であることから、建設系廃棄物の再資源化及び適正処理対策は極めて重要な課題となっています。

平成27年7月に北海道地方建設副産物対策連絡協議会により「北海道地方建設リサイクル推進計画2015」が策定されました。新しい目標に向けて、国、地方自治体のみならず、民間事業者を含めたすべての関係者に、本協議会の活動を通じて今後中期的に建設副産物のリサイクル、適正処理等に取り組むことを期待しています。

建設工事の関係者が、建設リサイクルと不適正処理の現況と展望を理解し、建設リサイクル推進に積極的に取り組んでいけるよう、意識の向上を図るため、本技術講習会を開催することといたしました。つきましては、皆様のご出席についてご高配賜りたくよろしくお願い致します。

○プログラム

注) 講義名については当日までに変更となる場合があります。

基調講演 (13:05~14:05)

「コンクリート構造物のサステナビリティ設計」

北海道大学大学院工学研究院

講義1 (14:20~15:20)

「JACICの業務と情報サービスについて」

(一財) 日本建設情報総合センター

講義2 (15:35~17:05)

「建設工事における建設廃棄物の取扱について」

北海道環境生活部循環型社会推進課

日時:平成29年2月20日(月) 13:00~17:10 (開場12:00)

場所:北海道立道民活動センター【かでの2.7】4階大会議室 (札幌市中央区北2条西7丁目)

入場無料・定員200名(申し込み先着順)

※1 出席希望の方は、所属、氏名、連絡先等を別紙「申込書」にご記入の上、平成29年1月31日(火)までにメールもしくはFAXでお申し込み下さい。なお、定員になり次第、申込みを締め切らせていただきますので、ご了承ください。

※2 本講習会は、CPDSは4ユニット、農業農村工学会CPDは4ユニットの学習プログラムの認定を受ける予定です。受講者へは、講習会終了後に受講証明書をお渡しします。